令和4年度 第1回 長井市都市計画審議会 会 議 録

日 時 令和4年12月16日(金)

10:30 ~ 11:40

場 所 長井市役所2階 市民防災研修室

長井市都市計画審議会

委員の出席状況

No.	区 分	氏 名	出 欠	備 考
1	1号委員 (学識経験者)	横 山 寛 道	出 席	
2	1号委員 (学識経験者)	遠 藤 敏 広	出 席	
3	1号委員 (学識経験者)	高 橋 郁 子	出 席	
4	1号委員 (学識経験者)	村 田 裕 子	欠 席	
5	2号委員 (市議会議員)	内 谷 邦 彦	出 席	長井市議会 産業・建設常任委員長
6	2号委員 (市議会議員)	赤 間 泰 広	出 席	長井市議会 総務常任委員長
7	2号委員 (市議会議員)	今 泉 春 江	出 席	長井市議会 文教常任委員長
8	2号委員 (市議会議員)	小 関 秀 一	欠 席	長井市議会 厚生常任委員長
9	3号委員 (行政機関職員)	大 津 明 弘	欠 席	山形県置賜総合支庁 建設部次長
10	3号委員 (団体役員)	横 山 照 康	出 席	長井商工会議所 専務理事
11	3号委員 (団体役員)	今 盛 秀 彦	出 席	(一社)山形県建築士会 長井支部長

事務局の出席

技監	青木 邦博
建設参事	小林 克人
厚生参事	梅津 義徳
子育て推進課長	鈴木 幸浩
建設課 都市・住まい政策室長	若月 由紀
建設課 都市・住まい政策室主査	横山 満
建設課 都市・住まい政策室係長	佐原 紗耶香
建設課 都市・住まい政策室主任	遠藤 雄貴
建設課 都市・住まい政策室主任	小松 理沙

会議録署名

会 長 横 山 寛 道

第 1 号委員 高 橋 郁 子

第 2 号委員 赤 間 泰 広

※ 原本に署名

- 1 開 会 小林建設参事が開会を宣した。
- 2 委員紹介 進行より委員全員の紹介を行った。
- 3 あいさつ 内容市長があいさつを行った。内容は次のとおり。

市 長：

令和4年度第1回都市計画審議会に師走のお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。先程事務局からありましたとおり、約2年ぶりの開催、また急な開催となりお集まりいただき感謝申し上げます。

昨年度委員の改選があり、新たに6名の方にお引き受けいただきました。5名の方は引き続きお引き受けいただき、心より感謝申し上げます。

前回の内容は、長井市都市計画マスタープラン改定についての説明、山形県内では2番目の策定となった立地適正化計画の概要説明、庁舎周辺の道路や長井病院、複合施設等の整備にかかる都市再生整備計画の概要説明でした。

本日の協議内容は、『長井市立地適正化計画』の変更についてです。老朽化している児童発達支援事業所「すみれ学園」を、誘導施設に位置付けし、都市機能誘導区域内の旧市役所庁舎を候補地として整備していきたいということでございます。

長井市においては、発達障害や医療的ケアが必要な子どもに対する対応の需要が増しています。

そのため、市として、インクルージョンな保育を推進する観点から児童発達支援事業所を都市機能誘導区域内へ誘導するため、当該施設を誘導施設に位置付けるものでございます。

なお、立地適正化計画を変更しようとするときは、都市再生特別措置法に基づき、あらかじめ都市計画審議会の皆様の意見を聴かなければならないとされています。今後は、パブリックコメント等も活用し、立地適正化計画の変更に住民の意見を反映させていく予定です。

計画変更の詳細については、後ほど担当職員から説明させていただきますので、本日はよろしくご審議賜りたいと思います。

4 会長・副会長の選出

- ① 新たな任期の第1回目の都市計画審議会ということで、会長・副会長が不在だったため、事務局の提案で、横山委員が仮の議長に就任した。
- ② 横山議長が、会長・副会長をどのように選出するか諮ったところ、遠藤委員から、指名推選の方法により選出すること、自身（遠藤委員）を指名者とする旨の提案があった。

- ③ 提案について異議はなく、指名推選の方法で選出すること、遠藤委員が指名することに決定した。
 - ④ 続いて、横山議長が遠藤委員に指名を求め、遠藤委員から、会長に横山委員、副会長に内谷委員との指名があった。
 - ⑤ 横山議長が遠藤委員の提案について諮ったところ、提案どおり、会長に横山寛道委員、副会長に内谷邦彦委員が決定した。
- 5 会議録署名委員の指名 長井市都市計画審議会議事運営規則第7条の規定に従い、横山会長が第1号委員から高橋委員を、第2号委員から赤間委員を指名した。

会長挨拶：推薦をいただき、また会長を務めさせていただきます。24年前に長井村塾を立ち上げ、心づくり、人づくり、そしてまちづくりをしたいと思い、花屋をリタイアして活動を始めました。駅前で生まれ育ち、駅前の賑わい、衰退を目の当たりにしてきました。前市長から都市計画審議委員にということでお話をいただき、22年務めてきました。その間、本町の街路事業も進み、来年度完成と聞いています。

内谷市長のリーダーシップで道の駅、旧長井小第一校舎、新庁舎が整備されました。平成24年度からまちづくり協議会を立ち上げて、おかげさまで長井駅海田線が事業認可を受けたところです。

四つ角整備を長井に持ってきたいと、色々場をわきまえず訴えてきました。今の県土整備部長に環状交差点に興味を持っていただき、検討していくかという話になりました。私も一つの区切りとして目途がついたので、来年3月までということでもよろしくお願ひしたいと思ひます。本日は協議する内容もありますので、いろいろご意見いただきながらまとめていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

6 協 議

- (1) 長井市の都市計画の概要について（建設課より説明）
- (2) 長井市立地適正化計画の変更について（建設課、子育て推進課より説明）
 - ① 事務局から（1）（2）の説明があった。
 - ② 事務局の説明について質疑応答が行われた。その内容は次のとおり。

委員：変更については賛成している。気がかりなのは防災の観点。

旧市役所庁舎の場所は1.2mの浸水区域になっていると記憶している。その辺が気がかりなところ。

委員：担当者から詳しい話をいただき、医療的ケア児に対応したこのような施設は必要と感じていたので、今回新しく整備するとのことで良かった。

市役所も結局ハザードマップの関係で高いところに移った。医療的ケアが必要な児童は防災的な視点でどのような考えで対応を行うのか。

小学生とのふれあいも必要なため、近いことは良いこと。財政的なところは検討していきたいと思う。

事務局：長井病院も止水版でハード対策しており、同様のハード整備や、隣接する体育館が高くなっているので、避難を含めてハード・ソフトかけあわせた対応を考えていきたい。

委員：概ね良いと思う。インクルージョン的な保育とはどのような保育を目指すのか。具体的に。浸水想定されるなら、どのような方針でというのかを示したものを作成いただきたい。

事務局：障害児と障害の無い子供と一緒に生活することによって、自分で出来ないことを見て感じて出来るようになる、または障害のないお子さんが障害のある子どもと接することで、いい刺激を受けて感受性が高まる、など、交流することでそのようなメリットが期待される。

委員：すみれ学園自体にはインクルージョン的な保育はない、長井小学校との交流で生まれる。それを含めて記載して欲しい。

委員：施設を作ることにありがたいことだと思っている。どのようなエリア、範囲で定員を考えているか、他市町村との協議は行われているのか。

事務局：今10人の定員で移転したとしてもそのまま。エリアについては置賜全域で考えている。以前市外の方も利用されていたが、他自治体にもこのような施設が整備されてきている状況。他が定員いっぱいなら長井でも受け入れる方向で考えている。自治体間のやりとりは行っていない。

委員：イメージ図での位置関係について。緑は広場なのか。

事務局：候補地としては、旧市役所の西側にある車庫に施設を整備し、小学校との間の広場で交流できるようなイメージで考えている。

委員：観光客を受け入れる施設と位置付けているが、それを変更することについて、必要なくなった旨説明が必要では。旧長井小はよそから人が来る施設なので。

事務局：全体を広場とする考えはあった。フリーハンドで書いているので決まりではない。設計して市議会で報告したい。当初の目的を失った訳ではない。インクルージョンとしても使える。

委員：長井市は国の制度を使うのが上手い。駅前の衰退を見たときに、個人では無理。行政にしてもらわないとまず無理。誘導区域を設定して、くるんとなど、次世代へつなぐには今しかないと考えている。民間として後押ししていきたいという思いを持った。

以上で協議を終了し、横山会長が議長の任を離れた。

7 そ の 他

特になし。

8 閉 会 小林建設参事が閉会を告げ散会となった。